

まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和元年 10 月 20 日（日）10 時 00 分～11 時 35 分

場 所：日出生活館

出席者：17 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 今年度のまちの動き（資料①）

※質疑応答

4. これからのまちづくり（資料②）

5. 懇談

6. その他

(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）

※質疑応答

7. 閉会

《質疑応答》

【栗山赤十字病院について】

町民：

日出住民にとって一番関心があるのは日赤病院の問題。とくち内科医院が廃業した影響もあり、日赤病院の外来が非常に混雑している。日赤病院の受入体制や設備の問題についてどのように考えているのか。

福祉総括：

とくち内科医院の医師は、現在由仁町立病院で診療をしている。とくち内科医院の次の医師を探しているが見つからない状況。とくち内科医院を受診していた患者が板垣医院と日赤病院に移動しており、どちらの病院も非常に混雑している。今後の動向も踏まえ、医療体制についても協議をして進めていきたい。

町長：

栗山町は日赤病院を拠点病院として、6 つの診療所がある医療体制。近隣と比較して医療環境としては整っている方ではないかと思うが、1 つの医院がなくなったことも踏まえ、今後の状況を見ながら進めていきたい。日赤病院の建替問題も迫っており、最優先で取り掛かりたい。病院の広域連携についても考えているが、なかなか難しい。由仁町、夕張市は診療所にダウンサイジングして維持しているし、南幌町、長沼町は札幌圏に連携を持っていて栗山町を向いていない。栗山町は病院の建替問題が迫っているため、周囲との温度差がある。なるべく早く方向付けをしていかなければならず、財政計画もきちんと立てながら、どの範囲でできるかなど、考えていかなければならない。町にとって最大の課題である。

【防災について】

町民：

ハザードマップに日出地区の山が土砂災害の地域という内容で記載されている。夕張川の氾濫についても書かれている。シューパロダムが新しくできたため夕張川は氾濫しないという話を聞いたが、新しいものを作成する計画はあるのか。

副町長：

みなさんに配布しているハザードマップは昨年 10 月に改定しており、現在の国・道の基準を満たしている。最大雨量や想定外の大雨も検討したものに作り替えており、最新の情報となっている。

町長：

夕張川は大丈夫かといった問い合わせが来ている。シューパロダムができて、安全性は保たれているが、想定外の災害に対応できるように河川対策をしていかなければならない。これまでも国の開発局に要望をあげており、引き続き要請していきたい。国管理の夕張川、そこに流れ込む道管理の阿野呂川や雨煙別川、町管理の川、3 者一体となって河川対策をする必要があるため、引き続き要請し対応していきたい。

【日出消防庁舎について】

町民：

本年 4 月より第 3 分団 2 部（日出消防）が第 3 分団 1 部（継立）と統合になり、消防団員の方も配置換えになったと聞いた。今年の大雪で日出消防庁舎の屋根が倒壊寸前で、ロープで応急処置をして建物を保っている状態。今後の将来展望も含めて、消防庁舎をどうするのか。

副町長：

日出消防庁舎は、今は応急処置をさせてもらっている。建物の老朽化が進んでおり、分団も移動しているが、消防車両が 1 台残っている。消防車両の移動については、継立に動かすには車庫を建てなければならないが、その土地や車庫設置について、なかなか話が進まない状態。これから冬を迎えるが、消防の現地確認もした中で、ご迷惑をおかけしないようにしたい。この処置については来年度の予算で進めていきたい。

町民：

私は消防庁舎の隣に住んでいる。建物が存続されるのであれば、除雪の対策を考えてほしい。これまで除雪されていないことが多く、私が消防庁舎の前を除雪していた状態なので、しっかりとした体制を作してほしい。

消防署長：

消防庁舎周辺の除雪は、その地区に住む団員にお願いしているが、日出に住んでいる団員が 4 人しかいないので、今年の冬の除雪については職員で対応していく。

町民：

消防車の移動は具体的にいつ頃になるのか。

副町長：

今年の冬は移動できないが、現在、整備方法を検討しており、来年度以降の計画になる。

【新規就農者支援・地域おこし協力隊に関して】

町民：

今年度の動きの中で、新規就農者が多くいるという報告があったが、地域おこし協力隊も含めて現状を教えてほしい。

産業総括：

現在、新規就農者 3 組が日出地区で就農されている。全体の割合では、日出も含めた南部地区で多くの方が受け入れられている。現在 3 組が 2 年間の研修中で、来年、再来年に就農を開始する予定。どの地区に営農になるかはまだ決まっていないが、本人の希望として日出地区で就農したいという方もいるため、具体的な話となったらご相談させていただきたい。

取り組みとしては、毎年イベントに参加して、東京都と大阪府で約 200 人と面談している。そのうち、体験として面談に栗山町に来てくれるのが 20 人程度。その中で、実際に栗山町で農業をやりたいという方は 2 人くらいで、体験に来てくれる人数の 1 割程度となっている。イベントに参加希望の自治体が増加しており、栗山町が参加することが難しくなっているが、イベントに参加する就農希望者が減少傾向にある。難しい状況になってきているが、毎年、2～3 人くらい就農させられるよう、積極的にイベント参加するなどしていきたい。

町長：

地域おこし協力隊修了者 17 人のうち、11 人が町に定住してくれている。若い方が栗山町に来てくれることで、新しい風が吹いている風潮がある。役場の若手・中堅職員も頑張っており、良い相乗効果が生まれていると思う。また、ものづくり DIY 工房の運営に携わるため、新しく 2 人の隊員を採用した。2 週間の栗山町での研修を終え、鎌倉市で 1 年間研修を受ける。令和 4 年からの DIY 工房運営に携わってもらう。

【町道に関して】

町民：

町道について、角田炭鉱の露天掘り業者がいた頃はダンプが通行していたこともあり、比較的交通量が多かったが、業者が撤退したこともあり最近は交通量が無くなった。周辺に住む方々が、道路の除雪や補修をしてもらえなくなるのではないかと心配をしている。

また、一部町道で路肩が崩れている箇所がある。普段通行者はいないが、農作業中に通る人もいる道なので対処してほしい。

建設総括

町道は、交通量に関係なく整備していく。除雪も今まで通り奥まで入っていくため、安心してほしい。また、路肩が崩れているところについては、早急に対応したい。

町民：

農機具が大型化していて、道路が狭くどうしても路肩にタイヤが出てしまう状況がある。難しい問題だと思うが、どうにかできないか。

建設総括

後ほど、道路状況などを調査してから対応を検討する。